

※天候やお子様
の体調等により変更
する場合がございます。
その場合、事前にご
連絡させていただきます。

2018年ラスト、寒さも気ぜわしさも一気に増してきましたね。秋以降、様々な学校行事に追われながら、子ども達は多くの経験を積み重ね、それぞれに一歩ずつ成長できたことと思われます。大人にとって、過ぎゆく季節は、ほんの一コマにすぎないがもしも、子ども達にとっては、その一瞬が、人生ではじめての出会う壁であり、乗り越える為に、大きな勇気とパワーを必要とします。

「参加できた」「うまくできた」だけがゴールや成功ではなく、その時々をどうするか考え、できる形で取り組み、手伝ってもらいながら自分なりにできた、それも成功なのです。

私達 大人の役割は、そんな子どもの姿を認め、影ながら見守り、支えるとなる事だと考えます。

キッズに通う子ども達は、人一倍、輝く個性と生きる力が強い子達。その分、見えない苦しさも抱えています。そのことを、周囲に理解してもらいながら、できる事をふやし、いかに自分らしく生きていけるか 大きなテーマ。

そんな、一人ひとりの将来像を見据えながら、“今この時”を積み上げていく。そんなイメージを抱きながら日々のアクティビティを計画しているこの頃です。



《こっち向いて ちーず》
～先月の活動エピソード～

ぼくら未来のアーティスト

♪フラワーアレンジメントに挑戦♪



地域の農家さんより生花をおすそ分けいただき、切り花して挿す“アレンジメント”を楽しみました。

「わかる」「できる」手立てを用い、誰もが楽しめるような配慮の上実施。

花に触れる、切り分ける作業は、『生き物、自然、旬のものを五感で感じとる事』や、

『古き良き行事やマナーをたしなむ事』といった両面に於いて、成長発達に大切なものです。

それを、私たちスタッフが丁寧に伝えていく事の必要性を感じています、ともに楽しみながら♪

コンセプトと活動目標

『自分で創り上げる』『だれもが○(間違いはない)』『指導でなく、自分から意欲をもって取り組む』

『持ち帰ってご家族にプレゼントし、感謝の気持ちを伝え よろこんでもらえる』

・クリエイティブで型にはまる事が嫌いな子には、机の上に花を広げて、好きなものをセレクトしながら大胆に。

・自由にアレンジするのが苦手な子は、補助ツールや視覚的支援を用いながら自分で完成することをねらいに。

・自分で創れるけれど、見本どおりでなければ不安な子は、「大丈夫。それでいいよ。」と安心できる言葉がけを。

～成功体験、ほめられた経験は、こうした一つひとつの積み重ねで培われていくのです～



※写真の掲載につきましては、個人情報同意書に基づき、各ご家庭ご了承の上での掲載とさせていただきます※

《すくすくコラム ～療育のおはなし～》

見える化アラカルト

“時間・空間の整理統合”

『視覚的手立ては 何故必要なのか?』

発達凸凹のあるお子さんは、時間や空間といった見えないものを、自分で順序だて組み立てる事に苦しさがあります。

また、例えば「ここに立って」「これあそこに置いて」といった

①曖昧な表現が 分かりづらい

②複数の指示を 記憶に留めておくことが 難しい

ところも 持っています。

一例として、朝の支度時・・・『8時に出るまでに着替えて、ご飯を食べて、歯を磨いて、荷物を準備して・・・』を頭で考え、優先順位をつけ おこなう事が多大な負荷となるのです。

言葉は消えてしまいます。見える化して知らせると自分で分かる、動ける。この示しかたを“視覚的支援”といいます。それにより、いちいち声かけを受けなくても、見て確認して進められます。これぞまさしく“一目瞭然”

何より、繰り返し言わなくてすむ分、大人も笑顔で心に余裕が持てるのが メリットなのです。

「一歩ずつ」「少しずつ」「こつこつ」とキッズの育ちには、これがとても大切です。

見える化の一例

目から情報を入れるのが得意で、

数字が好きなお子さんへの、来所お仕度コーナーの導線。



1. くつをぬぐ
2. くつばこにしまう
3. 消毒&検温
4. ロッカーに荷物をいれる

月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
Xmas制作 まつぼっくりツリー	クリスマス☆スペシャル月間!!!!			発達相談(午前) すくすくひろば
10	11	12	13	14
わくわくクッキング Xmasケーキデコ	☆持ち物 簡易なものは ございます	プログラミング	わくわくクッキング	発達相談(午前) すくすくひろば わくわくクッキング
17	18	19	20	21
ゲーム大会 動物ビンゴetc.	みんなが楽しめる動物ビンゴを使って、たて・よこ・ななめ、そろえてプレゼントもらっちゃおう～☆ 2018年がんばったごほうび集大成♪			発達相談(午前) すくすくひろば
24	25	26	27	28
休	冬休みスタート 昔ながらの 伝承あそび 羽子板、駒、皿まわし けん玉、かるた他	休	555ミュージック ミュージックケアと 音楽活動月	発達相談(午前) すくすくひろば プログラミング
31 大晦日	2019年元旦			休
休	※冬休み期間の日程・内容の詳細につきましては、後日お手紙にてお知らせいたします。			HPはこちらから 

シリーズ《ありのままでそのまま♥》

子どもも 親も笑顔になれる子そだて&親そだちのおはなし

アドラー心理学をご存知ですか? 岸見一郎氏 著『嫌われる勇気』で話題となった、世界的心理学者の理論で、これを取り入れた保育施設等も近年増えています。アドラー式育児論では、親と子、教師と生徒も、縦(上下)の関係でなく 対等な横の関係であるとし、従って「ほめる」でも「叱る」でもない “信頼して勇気づける” 育児法を提唱しています。例えば子どもが勉強しない、といった行動は子ども自身の問題として切り離して考える(=課題の分離)つまり、子供が自分で乗り越える事。親は、口出しせず、信頼し待ちながら、必要ならば援助するに留まる。そして出来た事への「ありがとう」の感謝と尊敬の念をあらわすのだということなのだろう。比較、競争、評価のない世界で生きる事は、承認要求も依存心もなく、真の自立となり、自分軸で生きる事となる。アドラー曰く 幸せとは、①自己受容(あるがままの自分を受け入れる) ②他者信頼(無条件で信じる事、ここにいってもいいんだと思える事) ③他者貢献(自分が他者に何が出来るかを考え、実践する事) であり、これこそが生きるよろこびなのだという事なのです。

■勇気づけによると、

- ①ご褒美や罰がなくても自ら勉強したり、家事を手伝ってくれるようになる
- ②できた事よりも 頑張った過程を認めてもらえ、チャレンジする子に育つ
- ③子どもを一人の人としてみなすので、互いを尊重し、自立した親子関係を保つ事ができる

・・・書籍以外に マンガ本も出ていて読みやすい☆アドラー心理の世界をぜひ一度のぞいてみてください♪

